

# 信託会社の経営の概況

平成19年11月29日  
金融庁

# 信託会社の経営の概況

各社アンケート等により作成

- ・現在、運用型信託会社5社、管理型信託会社7社が参入。
- ・これら信託会社については、総じて開業間もないこともあり、当期損益は赤字傾向。しかしながら、信託財産の受託残高・受託件数は徐々に増加。信託報酬も順調に拡大。

## ■ 運用型信託会社

1. 主に金銭債権等の流動化案件を扱う信託会社のH19.3期は、当期損益黒字。
2. H19年度上期は、受託件数・受託残高は引続き拡大。当期損益は赤字だが、経常損益は、速報ベースでは黒字化。

## ■ 管理型信託会社

1. 管理型信託会社は、H18年度内に登録を受け、実質的にはH19.4より業務を開始した社が多く、各期の推移を単純に比較することは、不適當。
2. H19年度上期は、不動産流動化案件を取扱う社を中心に受託件数・受託残高が順調に拡大。

運用型信託会社合計

(単位:百万円)

	H18.3	H19.3	H19.9(速報値)
営業収益	2,038	2,370	1,279
うち信託報酬	441	1,264	801
営業利益	▲ 542	▲ 157	131
経常利益	▲ 651	▲ 265	144
当期純利益	▲ 570	▲ 1,501	▲ 253
信託財産受託残高	626,978	1,190,847	1,272,296
受託件数	90	166	222
運用型信託会社数	5	5	5

・ トランスバリュウ信託(株)は、H17.12に管理型信託会社の登録を受け、H19.3に運用型信託会社の免許を取得。年度比較の便宜のため、H18.3、H19.3の計数にはトランスバリュウ信託(株)を含む。

管理型信託会社合計

(単位:百万円)

	H18.3	H19.3	H19.9(速報値)
営業収益	414	745	544
うち信託報酬	11	243	217
営業利益	▲ 42	▲ 39	51
経常利益	▲ 42	▲ 39	59
当期純利益	▲ 44	▲ 77	45
信託財産受託残高	53,746	152,685	110,468
受託件数	8	30	57
管理型信託会社数	2	8	7

・ H18.3、H19.3の計数には、ともにトランスバリュウ信託(株)を含む。

# 運用型信託会社の概況

各社アンケート等により作成

## ジャパン・デジタル・コンテンツ信託株式会社

## 株式会社朝日信託

- ・H17.5に運用型信託会社の免許を取得。
- ・映画の著作権等に投資する金銭信託や著作権の管理のための信託を中心に取扱う。H19上期には、大口金銭債権も受託。
- ・知的財産権保有者の資金調達ニーズ、投資家の知的財産権への投資ニーズともに増加するものと見込まれ、知的財産の信託ビジネスは拡大するものと予測。
- ・H19.3末の赤字の主因は、投資有価証券評価損、貸倒引当金繰入額等の特別損失を10億円を計上したことによるもの。

- ・H17.9に運用型信託会社の免許を取得。
- ・高齢者等の個人向財産管理信託を取扱う。
- ・H19.3以降リバースモーゲージ信託の取扱いが増加。収益力のアップに注力。

(単位:百万円)

	H18.3	H19.3
営業収益	1,526	892
うち信託報酬	224	412
営業利益	▲ 616	▲ 567
経常利益	▲ 717	▲ 691
当期純利益	▲ 677	▲ 1,660
信託財産受託残高	8,745	32,014
受託件数	15	26

(単位:百万円)

	H18.3	H19.3
営業収益	19	12
うち信託報酬	19	12
営業利益	▲ 50	▲ 144
経常利益	▲ 50	▲ 147
当期純利益	▲ 50	▲ 163
信託財産受託残高	460	1,858
受託件数	2	12

# 運用型信託会社の概況

各社アンケート等により作成

## 日立キャピタル信託株式会社

## DB信託株式会社

- ・H17.9に運用型信託会社の免許を取得。
- ・金銭債権（リース・割賦債権）の流動化案件を取扱う。
- ・グループ会社を背景として営業基盤が確立しており、比較的順調に受託残高を拡大。
- ・動産の流動化等のニーズの拡大が見込まれるため、動産の受託にも注力。

- ・H17.10に運用型信託会社の免許を取得し、ドイチ信託銀行法人信託部門を吸収分割。
- ・主に金銭債権の流動化案件を取扱う。
- ・H19上期の業績は、前年度と同レベルで推移。  
（受託残高・営業収益ともに横ばい）  
下期には、受託残高・営業収益とも増加を見込む。

（単位：百万円）

	H18.3	H19.3
営業収益	90	295
うち信託報酬	30	161
営業利益	▲ 93	5
経常利益	▲ 101	8
当期純利益	▲ 75	1
信託財産受託残高	114,782	233,201
受託件数	19	46

（単位：百万円）

	H18.3	H19.3
営業収益	397	1,027
うち信託報酬	162	535
営業利益	264	546
経常利益	264	561
当期純利益	279	317
信託財産受託残高	475,957	806,053
受託件数	53	75

## 運用型信託会社の概況

### トランスバリュー信託株式会社

- ・H17.12に管理型信託会社の登録。H19.2には運用型信託会社の免許を取得。
- ・金銭債権の流動化案件等を取扱う。不動産信託ビジネスも開始。
- ・H19下期の流動化市場は、一時的な縮小が見込まれるものの、長期的には拡大基調と予測。

(百万円)

	H18.3	H19.3
営業収益	6	144
うち信託報酬	6	144
営業利益	▲ 47	3
経常利益	▲ 47	4
当期純利益	▲ 47	4
信託財産受託残高	27,034	117,721
受託件数	1	7

## 管理型信託会社の概況

### SMFL信託株式会社

- ・H17.5に登録を取得。
- ・金銭債権(リース債権)の流動化案件を取扱う。
- ・コスト競争はより激化するものと懸念されるが、債権流動化のための信託のニーズは引続き期待できると予測。

(百万円)

	H18.3	H19.3
営業収益	408	442
うち信託報酬	5	26
営業利益	5	26
経常利益	5	26
当期純利益	3	16
信託財産受託残高	26,712	29,259
受託件数	7	13

# 管理型信託会社の概況

各社アンケート結果等により作成

## 平成18年度内に登録を受けた管理型信託会社

### ○きりう不動産信託株式会社

- ・個人所有の不動産を中心に取扱う。
- ・H19.3末現在、受託件数1件。信託財産の受託件数は伸び悩んでいるが、不動産賃貸業等の兼業業務で収益を確保。

### ○ファースト信託株式会社

- ・不動産流動化案件、特に賃貸住宅の信託をメインに取扱う。
- ・H19.3末現在、受託件数4件。不動産流動化に対する関心は、関西においても徐々に高まってきている。

### ○ライツ信託株式会社

- ・知的財産を取扱う。
- ・H19.3末現在、受託件数0件。H18.10に登録を受け、H19.2から本格的に業務を開始。H19下期で数件の受託を見込む。

### ○株式会社日本エスクロー信託

- ・不動産決済資金信託などエスクロー業務を取扱う。
- ・H19.3末現在、受託件数4件。エスクロー業務に対する知名度が低いため、H19上期は顧客開発に注力。下期より、売上げ増加を見込む。

### ○共同信託株式会社

- ・個人所有の不動産を中心に取扱う。関連会社の得意先等を通じ紹介を受けた顧客をメインとする。
- ・H19.3末現在、受託件数0件。

### ○株式会社日本流動化信託

- ・不動産流動化案件を中心とする。
- ・H19.3末現在、受託件数1件。H19上期において、約10件、受託残高約200億円を受託。